

特別企画：第 9 回栃木県内企業のメインバンク実態調査**足利銀行が 47.4%、占有率上昇****～めぶき FG の取引企業 10,820 社、高い影響力～****はじめに**

近年の金融機関を取り巻く環境は極めて厳しい。肝心の業績は約半数の地方銀行が本業（貸出金利・手数料収入）で赤字を計上するなど、各種金融政策が悪影響を与えている感がある。一方で固定費の圧迫を回避する意味で、複数の銀行がリストラ策を発表しており、業界再編の流れとともに動向が注目されていると云えよう。この状況は県内の金融機関も決して例外ではない。一方で企業にとっては、金融機関との関係を健全に保ち、常に必要な資金を調達できる環境を保つことは必須で、特にメインバンクとの関係性は非常に重要と云えるだろう。

そこで、帝国データバンク宇都宮支店は、2018 年 10 月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」に収録されている企業（147 万社）から、栃木県内の企業（2 万 2,060 社）がメインバンクと認識している金融機関について抽出し、企業と金融機関の取引実態について調査集計した。

なお、調査対象は全業種全法人で、個人経営も含む。栃木県内においての同調査は前回 2017 年 12 月に続き 9 回目。

※ 本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なる。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関のみを集計した

調査結果(要旨)

1. 県内各企業がメインバンクとして認識している金融機関で最も多かったのは足利銀行で、10,447 社（構成比 47.4%）と、引き続き圧倒的に高いシェアを維持している。「めぶきフィナンシャルグループ（足利・常陽）」としては 10,820 社（同 49.1%）で、引き続き高い影響力を保っている。
2. 2 位は栃木銀行で 5,319 社（構成比 24.1%）、3 位は群馬銀行で 882 社（同 4.0%）となった。以下、足利小山信金が 4 位、鹿沼相互信金 5 位と続いている。
3. 「足利」「栃木」の地元地銀 2 行で、構成比の合計は 71.5%と拡大傾向を示している。
4. 業種別では、全ての業種にて 1 位・足利銀行、2 位・栃木銀行であった。

1. 足利銀行がトップ、栃木銀行、大田原信金、佐野信金などがシェアアップ

栃木県内企業がメインバンクとして認識している上位 20 行は表 1 の通り。1 位は足利銀行で 10,447 社、構成比 47.4%（前回 47.3%）となり、調査開始以来 9 年連続でトップとなった。2 位は栃木銀行の 5,319 社、同 24.1%（同 24.0%）となり、前回同様に地元地銀 2 行で 1、2 位を独占、この 2 行の構成比の合計は 71.5%と占有率はさらに拡大した。3 位は県外から群馬銀行が 882 社（同 4.0%）とランクインしたが、依然として地元地銀 2 行との差は大きい。

4 位以下には信用金庫が並んでおり、4 位足利小山信金（628 社・2.8%）、5 位鹿沼相互信金（616 社・2.8%）、6 位栃木信金（609 社・2.8%）と続いた。特筆すべきは、足利銀行、栃木銀行、大田原信金、佐野信金、真岡信組の 5 行が 0.1%以上のシェアアップを果たした。一方で、足利小山信金、みずほ銀行、那須信組が 0.1%以上のシェアダウンとなった。順位変化については、5 位の鹿沼相互信金と 6 位の栃木信金、11 位の佐野信金と 12 位的那須信組のところで入れ替わりが起きている。

ちなみに、「めぶきフィナンシャルグループ（足利銀行・常陽銀行）」というくくりで見ると、メインバンク取引企業数は 10,820 社、そのシェアは 49.1%にものぼり、ほぼ県内企業の半数を占め、県内企業や県内経済に大きな影響力を持っている事があらためて確認できた。

表1(上位20行)

順位	金融機関名	本店所在地	2018年社数	シェア	シェア増減	2017年社数	シェア
1	足利	宇都宮市	10,447	47.4%	0.1	10,379	47.3%
2	栃木	宇都宮市	5,319	24.1%	0.1	5,265	24.0%
3	群馬	前橋市	882	4.0%	0.0	874	4.0%
4	足利小山信金	足利市	628	2.8%	▲ 0.1	638	2.9%
5(6)	鹿沼相互信金	鹿沼市	616	2.8%	0.0	621	2.8%
6(5)	栃木信金	栃木市	609	2.8%	0.0	622	2.8%
7	みずほ	東京都	450	2.0%	▲ 0.1	468	2.1%
8	烏山信金	那須烏山市	409	1.9%	0.0	417	1.9%
9	常陽	水戸市	373	1.7%	0.0	377	1.7%
10	大田原信金	大田原市	281	1.3%	0.1	273	1.2%
11(12)	佐野信金	佐野市	233	1.1%	0.1	219	1.0%
12(11)	那須信組	那須塩原市	229	1.0%	▲ 0.1	232	1.1%
13	筑波	つくば市	202	0.9%	0.0	208	0.9%
14	真岡信組	真岡市	146	0.7%	0.1	140	0.6%
15	三井住友	東京都	120	0.5%	0.0	114	0.5%
16	りそな	大阪府	109	0.5%	0.0	110	0.5%
17	東和	前橋市	94	0.4%	0.0	90	0.4%
18	商工中金	東京都	69	0.3%	0.0	70	0.3%
19	三菱UFJ	東京都	63	0.3%	0.0	67	0.3%
20	東邦	福島市	63	0.3%	0.0	62	0.3%

2018年 栃木県合計社数： 22,060

2017年 栃木県合計社数： 21,950

カッコ内は2017年調査の順位

2. 業種別 ～すべての業種で足利銀行、栃木銀行 1、2 位は変わらず

主要業種別の上位 10 行は表 2 の通り。

業種別では、すべての業種において前回調査と同様に 1 位は足利銀行、2 位は栃木銀行であった。また 3 位については群馬県の第一地銀である群馬銀行が「建設」、「製造」、「卸売」、「運輸・通信」、「サービス」、「不動産」と 7 業種中 6 業種で 3 位を確保した。「小売」については栃木信金がランクインした。4 位については、「建設」、「製造」、「運輸・通信」の 3 業種で鹿沼相互信金がランクイン、足利小山信金は「小売」、「不動産」の 2 業種を確保した。同じく「卸売」、「不動産」の 2 業種ではみずほ銀行が入り、「サービス」では栃木信金が 4 位であった。総じて、足利銀行、栃木銀行の地元地銀 2 行の強さが目立つが、3 位以降についてはその他の金融機関が熾烈なシェア合戦を展開しており、格差が僅少なケースが目立つ。例えば「建設」では 4 位鹿沼相互信金（204 社）、5 位栃木信金（192 社）、6 位足利小山信金（189 社）と、15 社の差で 3 行がひしめいている。同様に「小売」では 3 位栃木信金（108 社）、4 位足利小山信金（103 社）、5 位群馬銀行（100 社）とこれも 8 社の差。「サービス」では 3 位群馬銀行（126 社）、4 位栃木信金（123 社）、5 位足利小山信金（118 社）と 8 社の差であり、わずかのシェアアップ・ダウンで順位は入れ替わる状況だ。

その他の金融機関を見ると、めぶき F G の常陽銀行は、「不動産」で 7 位、「建設」「製造」「卸売」の 3 業種で 8 位、「サービス」で 9 位に入った。また、メガバンクの状況だが、みずほ銀行が「卸売」「不動産」の 2 業種で 4 位と健闘しているほか、「製造」で 6 位、「サービス」で 7 位、「小売」、「運輸・通信」で 9 位に入り、当地への進出が早かったという背景もありメガバンクの中では占有率が高い事が分かる。三井住友銀行は「卸売」で 10 位にランクインしたが、栃木県内においてはみずほ銀行との格差は大きい。圧倒的に県内金融機関が優勢である事は変わっていない。

3. 売上規模別 ～全ての規模で足利銀行が 1 位、「50 億円以上」ではみずほ銀行が 2 位

融資先の売上規模別の上位 10 行は表 3 の通り。

前回の調査時同様に足利銀行がすべての売上規模区分で 1 位となった。中小零細から大企業まで、すべての規模で構成比は 40%を上回っており、他の追随を許していない。2 位については栃木銀行が「5000 万円未満」「5000 万円以上 1 億円未満」「1 億円以上 5 億円未満」「5 億円以上 10 億円未満」「10 億円以上 50 億円未満」の売上規模 5 区分でランクインしたが、「50 億円以上」の売上規模ではみずほ銀行が入った。3 位については、「5,000 万円以上 1 億円未満」、「1 億円以上 5 億円未満」、「5 億円以上 10 億円未満」、「10 億円以上 50 億円未満」の 4 区分で群馬銀行が入った。

「5,000 万円未満」においての 3 位は足利小山信金、「50 億円以上」の 3 位は栃木銀行という結果になった。なお、「年商 50 億円以上」では 3 メガバンクが上位 5 位内にランクインしており、事業規模が大きくなるにつれ、メガバンクとの取引が活発化する傾向も見取れる。

表2(業種別上位10行)

建設

順位	金融機関名	2018年 社数	シェア	シェア増減	2017年 社数	シェア
1	足利	3,242	48.4%	0.0	3,267	48.4%
2	栃木	1,761	26.3%	0.2	1,761	26.1%
3	群馬	243	3.6%	▲ 0.1	247	3.7%
4	鹿沼相互信金	204	3.0%	▲ 0.1	209	3.1%
5	栃木信金	192	2.9%	0.0	198	2.9%
6	足利小山信金	189	2.8%	0.0	192	2.8%
7	烏山信金	162	2.4%	▲ 0.1	166	2.5%
8	常陽	110	1.6%	▲ 0.1	113	1.7%
9(10)	大田原信金	87	1.3%	0.1	82	1.2%
10(9)	那須信組	82	1.2%	▲ 0.1	88	1.3%
合 計		6,700			6,754	

製造

順位	金融機関名	2018年 社数	シェア	シェア増減	2017年 社数	シェア
1	足利	1,255	42.2%	0.1	1,258	42.1%
2	栃木	617	20.8%	0.3	613	20.5%
3	群馬	182	6.1%	▲ 0.2	187	6.3%
4	鹿沼相互信金	128	4.3%	0.0	129	4.3%
5	足利小山信金	120	4.0%	▲ 0.1	122	4.1%
6	みずほ	102	3.4%	▲ 0.2	108	3.6%
7	栃木信金	89	3.0%	0.1	88	2.9%
8	常陽	61	2.1%	0.0	63	2.1%
9(10)	佐野信金	47	1.6%	0.1	45	1.5%
10(9)	烏山信金	44	1.5%	▲ 0.1	47	1.6%
合 計		2,973			2,985	

卸売

順位	金融機関名	2018年 社数	シェア	シェア増減	2017年 社数	シェア
1	足利	974	46.3%	0.4	967	45.9%
2	栃木	510	24.2%	▲ 0.1	513	24.3%
3	群馬	119	5.7%	0.0	121	5.7%
4	みずほ	86	4.1%	0.1	85	4.0%
5	栃木信金	51	2.4%	▲ 0.1	52	2.5%
6(7)	足利小山信金	47	2.2%	▲ 0.1	48	2.3%
7(6)	鹿沼相互信金	43	2.0%	▲ 0.4	50	2.4%
8	常陽	35	1.7%	▲ 0.1	37	1.8%
9	大田原信金	26	1.2%	▲ 0.2	29	1.4%
10	三井住友	25	1.2%	0.0	26	1.2%
合 計		2,105			2,107	

小売

順位	金融機関名	2018年 社数	シェア	シェア増減	2017年 社数	シェア
1	足利	1,397	44.6%	▲ 0.2	1,409	44.8%
2	栃木	801	25.6%	0.3	796	25.3%
3	栃木信金	108	3.4%	▲ 0.1	111	3.5%
4	足利小山信金	103	3.3%	▲ 0.1	108	3.4%
5	群馬	100	3.2%	0.1	99	3.1%
6	鹿沼相互信金	82	2.6%	▲ 0.1	84	2.7%
7	烏山信金	67	2.1%	▲ 0.1	69	2.2%
8(9)	那須信組	64	2.0%	0.0	62	2.0%
9(8)	みずほ	61	1.9%	▲ 0.2	66	2.1%
10	大田原信金	60	1.9%	0.0	60	1.9%
合 計		3,131			3,144	

運輸・通信

順位	金融機関名	2018年 社数	シェア	シェア増減	2017年 社数	シェア
1	足利	329	43.9%	0.6	321	43.3%
2	栃木	186	24.8%	▲ 0.3	186	25.1%
3	群馬	49	6.5%	0.2	47	6.3%
4	鹿沼相互信金	24	3.2%	0.2	22	3.0%
5	栃木信金	19	2.5%	▲ 0.1	19	2.6%
6(5)	足利小山信金	17	2.3%	▲ 0.3	19	2.6%
7	烏山信金	16	2.1%	▲ 0.1	16	2.2%
8	佐野信金	15	2.0%	0.0	15	2.0%
9	みずほ	11	1.5%	0.0	11	1.5%
10(-)	常陽	11	1.5%	-	-	-
合 計		750			742	

サービス

順位	金融機関名	2018年 社数	シェア	シェア増減	2017年 社数	シェア
1	足利	2413	51.7%	0.4	2,336	51.3%
2	栃木	1067	22.9%	0.2	1,032	22.7%
3(4)	群馬	126	2.7%	0.1	118	2.6%
4(3)	栃木信金	123	2.6%	▲ 0.2	126	2.8%
5	足利小山信金	118	2.5%	0.0	116	2.5%
6	鹿沼相互信金	94	2.0%	0.0	89	2.0%
7	みずほ	78	1.7%	▲ 0.1	80	1.8%
8(9)	烏山信金	76	1.6%	0.0	72	1.6%
9(7)	常陽	76	1.6%	▲ 0.2	83	1.8%
10	大田原信金	53	1.1%	0.0	48	1.1%
合 計		4,667			4,550	

不動産

順位	金融機関名	2018年 社数	シェア	シェア増減	2017年 社数	シェア
1	足利	585	50.2%	▲ 0.5	577	50.7%
2	栃木	272	23.3%	▲ 0.2	268	23.5%
3	群馬	39	3.3%	0.3	34	3.0%
4(5)	足利小山信金	29	2.5%	0.0	29	2.5%
4	みずほ	29	2.5%	▲ 0.1	30	2.6%
6	鹿沼相互信金	25	2.1%	0.1	23	2.0%
7	烏山信金	18	1.5%	▲ 0.3	20	1.8%
7(9)	常陽	18	1.5%	0.2	15	1.3%
9(8)	栃木信金	16	1.4%	0.0	16	1.4%
10	大田原信金	13	1.1%	▲ 0.1	14	1.2%
合 計		1,165			1,139	

シェアアップ・ダウンの状況を見てみると、いくつか特徴的な動きが見られる。例えば足利銀行だが、売上高「5000万円未満」においては前年比で38社（0.2%）減少、「5000万円以上1億円未満」では34社（0.3%）減少と、小規模企業のシェアダウンが見られた。その一方で「1億円以上5億円未満」では83社（0.4%）増加、「5億円以上10億円未満」では37社（1.7%）増加という結果となっており、売上高「1億円未満」の企業では減少、「1億円以上10億円未満」では増加という動きが見られた。これとは逆に栃木銀行では、「1億円未満」のカテゴリーではシェアアップ、「1億円以上10億円未満」ではシェアダウンという結果で両行ともにメインバンク戦略に変化があったとまでは云えないものの、傾向は出ているといったところであろう。また、売上高「50億円以上」の企業においては、みずほ銀行がかわるじてシェアを維持しているものの、三菱UFJ銀行、三井住友銀行はシェアダウンしており、メガバンクにおいてもエリア戦略に差が出つつあるのかもしれない。足利銀行はこのカテゴリーでも企業数を増やしており、総体でのシェアアップにも影響を及ぼしているとみられる。

表3(売上規模別上位10行)
5,000万円未満

順位	金融機関名	2018年 社数	シェア	シェア増減	2017年 社数	シェア
1	足利	4107	47.1%	▲ 0.2	4145	47.3%
2	栃木	2123	24.3%	0.1	2117	24.2%
3	足利小山信金	298	3.4%	▲ 0.1	306	3.5%
4(6)	群馬	273	3.1%	0.0	269	3.1%
4	鹿沼相互信金	273	3.1%	0.0	276	3.1%
6(4)	栃木信金	262	3.0%	▲ 0.1	276	3.1%
7	烏山信金	194	2.2%	0.1	188	2.1%
8	みずほ	145	1.7%	0.0	150	1.7%
9	大田原信金	131	1.5%	0.0	128	1.5%
10	那須信組	110	1.3%	0.0	118	1.3%
合 計		8,724			8,762	

5,000万円以上1億円未満

順位	金融機関名	2018年 社数	シェア	シェア増減	2017年 社数	シェア
1	足利	1894	45.7%	▲ 0.3	1928	46.0%
2	栃木	1102	26.6%	0.5	1092	26.1%
3	群馬	159	3.8%	0.0	161	3.8%
4(5)	鹿沼相互信金	130	3.1%	0.1	127	3.0%
5(4)	栃木信金	128	3.1%	0.0	128	3.1%
6	足利小山信金	113	2.7%	▲ 0.2	123	2.9%
7	烏山信金	77	1.9%	▲ 0.3	91	2.2%
8(9)	みずほ	72	1.7%	0.0	72	1.7%
9(8)	常陽	66	1.6%	▲ 0.2	74	1.8%
10	大田原信金	53	1.3%	0.2	48	1.1%
合 計		4,142			4,189	

1億円以上5億円未満

順位	金融機関名	2018年 社数	シェア	シェア増減	2017年 社数	シェア
1	足利	3237	48.5%	0.4	3154	48.1%
2	栃木	1638	24.5%	▲ 0.1	1611	24.6%
3	群馬	288	4.3%	▲ 0.2	294	4.5%
4	足利小山信金	182	2.7%	0.0	178	2.7%
5	栃木信金	176	2.6%	▲ 0.1	177	2.7%
6	鹿沼相互信金	173	2.6%	▲ 0.1	176	2.7%
7	みずほ	124	1.9%	▲ 0.1	132	2.0%
8	常陽	123	1.8%	0.0	119	1.8%
9	烏山信金	107	1.6%	0.0	104	1.6%
10	大田原信金	83	1.2%	▲ 0.1	83	1.3%
合 計		6,679			6,562	

5億円以上10億円未満

順位	金融機関名	2018年 社数	シェア	シェア増減	2017年 社数	シェア
1	足利	575	48.4%	1.7	538	46.7%
2	栃木	257	21.6%	▲ 0.3	252	21.9%
3	群馬	78	6.6%	0.0	76	6.6%
4	常陽	41	3.5%	0.1	39	3.4%
5	鹿沼相互信金	27	2.3%	▲ 0.1	28	2.4%
5	みずほ	27	2.3%	▲ 0.1	28	2.4%
7(8)	足利小山信金	24	2.0%	0.2	21	1.8%
8(7)	烏山信金	21	1.8%	▲ 0.4	25	2.2%
9(8)	栃木信金	18	1.5%	▲ 0.3	21	1.8%
10(-)	りそな	14	1.2%	-	-	-
合 計		1,188			1,153	

10億円以上50億円未満

順位	金融機関名	2018年 社数	シェア	シェア増減	2017年 社数	シェア
1	足利	478	49.0%	▲ 0.5	473	49.5%
2	栃木	170	17.4%	0.1	165	17.3%
3	群馬	73	7.5%	0.6	66	6.9%
4	みずほ	53	5.4%	▲ 0.5	56	5.9%
5	常陽	27	2.8%	0.0	27	2.8%
6	三井住友	23	2.4%	0.2	21	2.2%
7(10)	栃木信金	17	1.7%	0.4	12	1.3%
8(7)	商工中金	16	1.6%	▲ 0.1	16	1.7%
9	りそな	13	1.3%	▲ 0.1	13	1.4%
10(-)	鹿沼相互信金	12	1.2%	-	-	-
10(8)	三菱UFJ	12	1.2%	▲ 0.4	15	1.6%
合 計		976			955	

50億円以上

順位	金融機関名	2018年 社数	シェア	シェア増減	2017年 社数	シェア
1	足利	125	43.3%	1.4	117	41.9%
2	みずほ	28	9.7%	0.7	25	9.0%
3	栃木	18	6.2%	0.1	17	6.1%
4	三菱UFJ	16	5.5%	▲ 0.2	16	5.7%
5	三井住友	14	4.8%	▲ 0.2	14	5.0%
6	農林中金	11	3.8%	▲ 0.1	11	3.9%
7	群馬	10	3.5%	0.6	8	2.9%
8(7)	りそな	9	3.1%	0.2	8	2.9%
9(7)	商工中金	7	2.4%	▲ 0.5	8	2.9%
10(-)	常陽	6	2.1%	-	-	-
合 計		289			279	

4. まとめ

メインバンク調査も今回で9回目を数えるが、栃木県内においては、足利銀行がトップ、2位に栃木銀行というシェアに大きな変化は見られない。振り返れば、栃木県の金融市場は大きなうねりの中で環境に順応してきたと云えよう。特に2003年のいわゆる「足銀ショック」により、県内企業は大きな影響を受けた。経営破綻、一時国有化は同行にとっても大きな試練であったが、逆の見方をすれば、その他の地元地銀や信金、信組を成長させる環境となったのも事実であろうし、企業や経営者においても金融機関との関係性を学んでいったような気がする。

今後も、銀行再編をはじめ金融業界を取り巻く環境は激変が予想される。それでも、メインバンクの様々な支援は企業にとってなくてはならない存在であり、栃木県経済が今後ますます発展していくためには、中小企業の振興は大きなファクターである事に変わりはない。企業にとっては、そこに支障が出ることは望ましくないであろう。今後も企業とメインバンクの関係性やその変化には注目していきたいと考えている。

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株) 帝国データバンク宇都宮支店 情報担当： 古川哲也

TEL 028-636-0222 FAX 028-633-5639

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。